

鉄 橋

～心の架け橋～



第 414 号

平成 29 年 3 月号の 1
香美町立余部小学校
〃 御崎分校
〃 余部幼稚園

3 学期に入ってから、あっという間に 3 月半ばになろうとしています。幼・小・分校は本年度のまとめと、次年度へ向けて取り組んでいます。
6 年生はいよいよ小学校の課程を修了し、卒業式が間近に迫ってきています。一人ひとりがそれぞれの思いを胸に卒業に臨みます。最上級生として、下級生をリードし、良き手本となって活躍してくれました。幼稚園のさくらぐみの園児たちも、うめぐみの園児たちの良きお兄さん、お姉さんでした。次号では、卒業・卒園式の様子をお届けしたいと思います。

昔の遊びをして楽しみました

二月二十一日(火) 一・二年生が昔の遊びをおじいさん・おばあさんと一緒になつて楽しみました。最初に、牧田さんから鳥のお話や子どものお話のころのお話を聞き、その次に「お手玉」「こ

ままわし」「けんだま」「あやとり」をみんなで教わりながらしました。

昔の遊びは道具も素材ですが、互いにふれあうことのできる遊びであるため、世代を越えて楽しみました。最後は、子どもたちから歌のプレゼントをしました。心温まるひと時でした。ありがとうございました。

平成二十九年 度児童会 前期役員選挙 立会演説

二月二十八日(火) 体育館で立会演説と投票を行いました。五年生と四年生の四人が立候補しました。来年度、「学校を明るく、笑顔があふれ、楽しい学校にしたい。」という思いを熱く訴えました。

六年生を中心とした児童会の活動を間近で見てきた、五年生と四年生は「自分も上級生になったら先輩のような活動をして、みんなを引っ張っていきたい。」と立候補したのだと思います。

学年が上になるにしたがい、自分中心から自分の周りや人の為に何かできることはないだろうかと考え、行動に移す成長を感じさせる立会演説会でした。

きつと来年度、新たな風を児童会に吹かせてくれると期待しています。

登校安全の見守りのみなさん ありがとうございます

子どもたちの安全登校に、毎日ご指導をいただきありがとうございました。雨の日、風の強い日、暑い日そして、冬は雪深い日と悪天候にもかかわらず、子どもたちと一緒に歩いていただき、感謝いたします。子どもたちにとってどれほど心強かったことでしょうか。時には、猿も出てきて、びっくりした日もありましたが、近くに大人がいることで、安心して登校することができました。

保護者の見守りに関しましてもありがとうございました。このような地域の取組は、安全な町づくりにつながっていくと思います。どうぞ、来年度もよろしく願いいたします。